

◆◆第 81 回定期全国大会決定事項に基づく申し入れ 新型コロナウイルス感染症対策を万全にして実施

【全国発信記事】北海道地方支部 ―北海道・旭川市・札幌市へ― 申し入れ

―船員政策諸課題の申し入れ―

北海道

申し入れは、1 月12日に北海道庁で、池端英昭北海道議会議員（組合政治参与）と高橋亨北海道議会議員にご同行いただき、北海道側は土屋俊亮副知事と仲野克彦労働政策局長、西岡孝一郎雇用労政課長、安友哲志市民自治推進主幹にご対応いただいた。

申し入れでは、遠藤飾北海道地方支部長から、海運・水産産業に携わる船員後継者の確保・育成をはじめとする船員政策諸課題に関する各項目について丁寧に説明し、理解を求めるとともに、強く要請した。

北海道側からは「海の日」の 7 月 20 日固定化について 3 連休を望む意見もある中、主旨については理解した。船員の確保・育成については、水産業は四面を海に囲まれた北海道にとって重要な位置づけであると認識している。北海道は漁船漁業の研修施設を所持していることから引き続き育成に力を入れたい。海洋プラスチックごみの問題については関係各所と連携し、ごみの排出の抑制・回収を検討したい」との考え方が示された。

北海道運輸局

1 月13日には、北海道運輸局へ申し入れを行い、中岡浩幸海事振興部部長と小野大治海事振興部船員労政課長にご対応いただいた。

申し入れ内容について北海道運輸局側からは「申し入れの項目はいずれも重要な内容であると考えており、四面を海に囲まれている北海道にとって海運・水産業ともに経済を支えるために必要不可欠であると認識している。船員の確保・育成への対策は重要な課題であり、海洋教育の一環として関係各所と連携し協力したい」との考え方が示された。

旭川市

1 月21日、松田宏旭川市議会議員にご同行いただき、旭川市へ申し入れを行った。旭川市側は西川将人市長と野崎幸宏総務部部長、品田幸利経済部部長、稲田俊幸税務部部長、和田英邦農政部部長、山川俊巳旭川市教育委員会学校教育部長にご対応いただいた。

申し入れ内容について、旭川市側から「旭川市は内陸部にあるものの、魚介類等の流通の拠点となっており、海事産業および漁業の大切さ、船員に対する理解を深めることは重要であると認識している。今後、学校の方から海事産業への説明会などの活動を求められた際は、是非お願いしたい。また、船員後継者の確保・育成について、四面を海に囲まれた北海道にとって海事産業は切っても切れない重要な基幹産業であると認識しており、市として出来ることを検討していきたい」との考え方が示された。

札幌市

1 月22日には札幌市に申し入れを行い、檜田英樹教育次長と遠藤康弘税務担当局長、上舘和則市民税課長、小原幸二市民税係長、佐藤圭一教育課程担当課長、佐々木薫教育推進課長にご対応いただいた。

申し入れ内容については、札幌市側から「四面を海で囲まれている北海道にとって水産・海運は切り離せない重要な産業であると認識している。船員の確保・育成については、小学生への教育の一環として、水産労働者の声を教科書に載せており、学校側からの依頼があった際、講話などの依頼を考えたい。船員の住民税減免については、市は職種別の減免措置を行っておらず、公平性の観点から市で独自となると難しいと考えている」との考え方が示された。その後意見交換を行い、申し入れを終了した。